

# モニタリング【小学校入学を控える子供の発達と適応に関する懸念】

(1/3)

実施日	2025年12月13日(土)
場所	児童支援センターえがおインター前
担当者	桐村裕一

	池田活紀	様
	2025年12月13日(土) 9:35 ~ 10:15	
相談者	池田 英美	

## 概要

小学校入学を控える子供を持つ母親との面談。議題は、子供の現在の発達状況(幼稚園・家庭での様子)と入学後の生活への移行に関する懸念。子供は集団行動や新しい挑戦に慎重だが、1対1では能力を発揮できる。主な課題は、集団生活でのストレス、入学後の生活リズムの変化(特に学童保育)、アトピー性皮膚炎。母親は、入学後も継続的な支援による円滑な適応を期待している。

母親はフルタイム勤務。子供は幼稚園に通い、個別支援「笑顔」を受けている。支援により体の使い方や不器用さが改善し、ジェンガ・レゴなど好きな活動に集中できるようになった。睡眠の質も向上し夜間覚醒が減少。進学予定は岡野小学校で、児童クラブ利用を検討。家庭の事情で来年4月から名字が母親の旧姓「盛永」に変更予定(就学手続きは新しい通称で進行)。

## 問題点

- 子供は、集団生活や慣れない環境でストレスによりスイッチが入り、本来の力を発揮しにくい。
  - 問題の明確化: 外(集団)では過度に緊張し力が入りすぎる。幼稚園では周囲をよく観察してから行動するため一歩遅れることがあると指摘。
  - 影響: ストレスで夜間に歯ぎしり。新しい課題(例: クリスマス会の楽器)への不安で練習を避けがち。
  - 現状: 家庭ではリラックスし力を出せるが、外では緊張状態に。支援の場では1対1でゆっくり取り組めば課題をこなせる。
  - 具体例: 幼稚園で先生の話聞かずに夢中になることがある。クリスマス会の楽器練習で「もういい」とすぐにやめてしまう
  - 関係者: 子供、母親、幼稚園の先生。
- 子供のアトピー性皮膚炎は、特にストレスで悪化しやすい。
  - 問題の明確化: ストレスや環境の変化が症状に影響。

## I検討事項

最大の悩みを「子供が集団生活や慣れない環境でストレスを感じ、本来の力を発揮できないこと」と特定。対処策として以下を提案します。

スモールステップの成功体験: 支援セッションに小規模グループ(2~3人)の短時間活動を導入。レゴ等の好みを活用し共同制作から始め、「集団でも大丈夫」の成功体験を積む。

2. 観察を強みとして捉える: 「一歩遅れる」を「慎重でよく見て考えられる」特性として母親・本人・先生に共有。観察時間を認め

次回予定									
①									

# モニタリング【小学校入学を控える子供の発達と適応に関する懸念】

(2/3)

実施日	2025年12月13日(土)
場所	児童支援センターえがおインター前
担当者	桐村裕一

	池田活紀	様
	2025年12月13日(土) 9:35 ~ 10:15	
相談者	池田 英美	

<ul style="list-style-type: none"><li>・影響: 夜中に無意識に掻くことがある。症状がひどい時は手洗いなどを嫌がる。</li><li>・現状: 昨年より全体的に改善傾向だが関節部分はまだひどい。小学校入学という新しい環境で一時的な悪化の可能性はある。</li><li>・具体例: 母親も成人後にストレスで蕁麻疹を経験しており関連性を理解。 小学校入学後の生活、とりわけ学童保育(児童クラブ)利用と仕事の両立に懸念。</li></ul> <p>問題の明確化: 母親はフルタイム勤務。小1の変則的スケジュール(学期初めの短縮授業)に児童クラブが対応可能か不安。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・影響: 対応不可の場合、母親が仕事を休み迎えが必要。</li><li>・現状: 岡野小学校区の児童クラブに入る予定だが、1学期最初の2週間など、稀に昼まで授業でクラブが対応できない可能性が示唆。</li><li>・関係者: 子供、母親、勤務先、児童クラブ。</li></ul> <p>3.期待 子供が小学校生活にスムーズに適応し、集団でも安心して過ごせること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・具体的な目標: 入学後も現行支援を継続し、子供のペースに合わせたサポートを受けたい。特に、2年生で学習内容が細くなり苦手が出た際の適切なフォローを期待。</li><li>・成功の指標: 学校生活を楽しみ、ストレスによる歯ぎしりやアトピー悪化の軽減。集団活動への自信の向上。</li></ul> <p>4.小学校と支援機関が連携し、子供の情報共有で一貫したサポート体制を構築すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・具体的な目標: 支援機関から小学校へ特性・配慮事項の引き継ぎ。母親はサポートファイルの作成を希望し、小学校との連携に活用。</li><li>・タイムフレーム: 入学前の3月頃に引き継ぎ準備。</li></ul>	
急かさない関わりで不安軽減。	
3. リラックス・ルーティンの導入: 外でも使える簡単な自己調整法を親子で練習。例:「ゆっくり深呼吸3回」「好きな動物フィギュアをポケットに入れ不安時に触る」などのアンカー行動でストレス対処力を育む。	
小学校生活の視覚的シミュレーション: 入学前に一日の流れ、教室配置、児童クラブの様子を写真・絵カードで示し親子でシミュレーション。見通しを持つことで不安を軽減し適応を促進。	

えがおインター前

